

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

一日最高千三百人 五月六日・通算七万人を突破

ことしの五月初旬のゴールデンウィークは、天候に恵まれなかったが、わが展示館は連日たくさんの方の来館者を迎え、五月五日の子どもの日には千三百人をこえるに至った。この数は開館以来的最高を記録しました。五月六日には開館以来的通算七万人を突破するに至ったが

これは月平均三〇四三名、一日平均一二二名となり、展示館が都民・区民にいかにか愛好されてきているかを示しています。この増勢からみると、ことし八月までには八万人を突破し、年内十万人となることも必ずしも夢ではなさそうです。



多くの人びとの努力によってかつてゴミの島といわれた夢の島は、いまや緑の島・自然色ゆたかな公園地に生まれ変わりつつあります。

その地域には、七面の野球場二面の少年野球場、サッカー場から総合体育館(室内プールその他)野外競技場もあり、さらに第五福竜丸展示館に並んで江東区立老人憩いの家もおかれていて、次第に都民・区民のオアシスとなりつつあります。

ただ残念なのは東京都の全般的な財政難によって、公園化の

工事が思うとおりに進行していかないこととあります。たとえば都立・第五福竜丸展示館の付属施設としての原水爆資料館の建設なども実現しないのが現状で

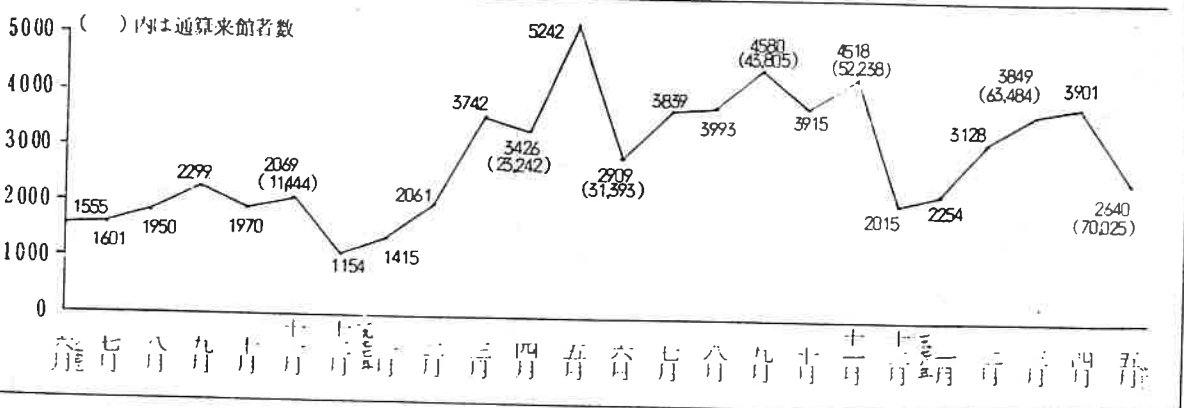
夢の島の美化に都民・区民のご協力を!

専務理事 広田重道

さらに、心ない利用者による樹木・芝生・柵や立札などの破壊が目立っています。折角、貴重な都税や区税を使って美しい

もの、便利なものを作っても、すぐに壊されてしまうのが実情であります。

第五福竜丸が海の上に捨てられていたころ、都民や区民の有志の方が「美しくする集い」を組織して、手入れをして下さったことを思い出します。都民・区民のみなさんが、夢の島を美しくするため、心ない破壊や妨害を抑え、何らかの形で「苗木を持ちこみ、道路を清掃し、善意の立札をたてるなど」その建設に参加して下さることを心から訴えます。



国連要請核兵器廃絶 一三四〇名を達成 三五〇〇万署名 代表出発は五月下旬



第五福竜丸平和協会は去る四月中旬に、一千名の目標で国連へ核兵器廃絶を訴える三千五百万署名に取り組みましたが、五月上旬に早くも目標を突破・一三四〇名を集めました。

同署名運動推進連絡会議の発表によれば、現在、署名総数は

協会役員消息

◇三宅泰雄会長は、去る四月十七日に古稀を迎えられたので、友人、後輩などが日比谷公園内松本楼で、同日夕方、祝賀会をひらき、約三〇名の方がたが出席され、盛会でした。

◇檜山義夫副会長は、ご自身が健康を害され、人間ドック入りをされているときに、ご令室が入院・ご手術ということで、大へんピンチを迎えられています。一日も早いご快復を切にお祈り申し上げます。

展示館日記

◇前号でもお知らせしたように、夢の島公園内の管理事務所(所長田口主事)が確立されましたので、園内は次第に整備されてきています。公園内の施設の利用などについては同事務所にお問い合わせ下さい。電話は五二一八四四番です。

◇去る五月五日は来観者千三百

をこえ、開館以来的のレコードを作りましたが、その中に五才の男の子の迷児がありました。この子は住所・氏名・電話番号などをハッキリと言いますので、たちまちはぐれた親と連絡がつき、無事引きわたしました。日ごろの親の訓練がわかるようで館員一同、感心しました。

◇江東の辰己小学校六年生がスケッチをかねて、館の見学にきました。整然とした団体行動



編集後記

◇出巻 兼理事は、法政大学学生会学部長にふたたび就任されました。

◇神崎 清理事は四月末に腎臓病のため人間ドック入りされましたが、目下・自宅で静養中です。

▼風かおる五月、来館者一日に千三百名という新記録を出して張り切って第二号をここに送ります。

▼さすがに五月は子どもの月か小中学生の参観がふえています。なかには事務局員と仲良しになり、手土産をもって遊びにくるものも少くありません。

▼次代を担う青少年は感受性も強く、率直に展示されているものを理解していることが、感想録などにも残されていて、本当にたのしいと思います。

▼展示館で子どもたちのために学校でもひらけたらよいと思います。

ここへ来て遊べや親のない子達

(H)

アメリカの旅から

猿橋 勝子



アメリカのラ・ホヤを四年ぶりに訪ねた。ラ・ホヤはカリフォルニア州の最南端にあるサン・ディエゴ市の郊外にある小さい町である。太平洋に面し、氣候が温和で、一年中花の咲きみだれる美しい、静かな町並をもつ。ここには、海洋学研究所のメッカであるスクリップス海洋研究所(カリフォルニア大学付属)がある。またカリフォルニア大学サン・ディエゴ分校があり、現在、学部と大学院の学生、あわせて二万人がいる。

一九五六年に三宅泰雄先生が客員教授として、ここに招へいされて以来、私たちの研究室とは交流がしきりである。私自身も、一九六二年にここに滞在し、海水中の人工放射性元素の研究に従事した。その時の共同研究者であるフォルサム博士が、サンディエゴ空港に迎えてくれた。三宅先生より一ヶ月年長の

老学者だが、大変お元気で、いまでも熱心に研究をつづけている。三宅先生は去る四月十七日に、満七十才になられた。気象研究所地球化学研究部は、先生の古稀を祝って、「海洋および大気の地球化学的研究」と題する研究論文集を刊行した。研究論文一〇四篇(八五〇頁)をえらんで収録した。出発前によりやく製本が間にあつた十数冊をもち、とりあえず先生とご親交のある方々におとどけし、大変よろこばれたことは、第子としてこの上ない幸であつた。

ラ・ホヤの青い空、美しい海、さわやかな波の音をきいていると、十数年前のことが次々と思ひ出された。私は翌朝、ミセス・ユリーイに電話をした。夫人は早速、車で迎えに来てくれた。ユリーイ教授は重水素の発見でノーベル賞授賞(一九三一年)戦争中、原子力委員であつた。

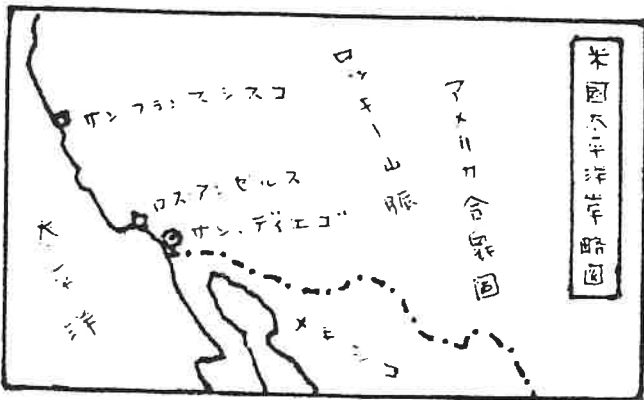
その後、月がどうして出来たか等々、月への関心を深めた。昔のままのお庭でお茶をいただいていると、十数年前の「お月見のことが思ひ出された。

ミセス・ユリーイと相談して、ユリーイ邸でお月見の宴をはつたのは、一九六三年中秋の明月の夜であつた。月見だんごをつくり、豊かな穂をもつアメリカのすすきと、日本酒をそなえた。三十人分のすすきを前日から準備した。おそい月の出を、ユリーイ先生ご夫妻は、多くの人にかこまれて、うれしそうに眺めていたことが思ひ出された。

ユリーイ先生は天皇と誕生日が同じである。去る四月二十九日で八十四才になられた。いま目の前にいらつしやる先生は、四年前とも異なり、パーキンソン氏病に悩まされ、贈呈した論文集を開く手が、上下左右にふるえるばかりか、昔の記憶も、時にはさだかでないように見受けられ、私の胸はいたんだ。かつて私を大変可愛がつて下さつたレイクストロウ教授夫人も、レイト教授夫人、昨年、

一昨年と相ついでこの世を去つた。私自身も年を重ね、またラ・ホヤを訪ねることがあるかどうか、たとえ訪ねたとしても、私を迎えてくれる人がいるかどうか。悲しい人のさだめを思いながら、ユリーイ邸を辞し、つづいてお招きをうけているアルレニウス教授邸へといそいだ。

(気象研究所 研究室長、理博)



来館者の声から



第五福竜丸のことについて、今まで、一応知っていたぐらいでしたが、ここに来てよくわかりました。

しかし、日本人の中には、原爆(広島・長崎)のことも、忘れつつある人がいます。それもわりと多く。

ですから、こういう展示館がもっと大きく社会の中に位置づけられる必要があると思います。私の故郷(福岡)でも、平和委員会があり、活動しています。が、やっぱりまだまだ、ということを感じます。

一人でも多くの人に知らせるということですね。

ガンバロット

鈴木美枝子

原水爆の恐ろしさを子供達に伝える為にはこの姿をいつまでも残して欲しいと思います。

山本登世子

水爆ってほんとにこわいものなんですわ!

これからも第五福竜丸を大切にしてくださいね。

またみにきます。すいばくにあつた人たちがかわいそうです。

無記名

◇

小学校の教師です。教材研究のためやって来ました。水爆に関するお話「とびうおのぼうやは病気で」の授業を成功させるためです。水爆に対する知識はまだまだ不十分です。四年生の児童の感想の中に「とびうおのぼうやは何もしてないのに、ぼうやごめんさいね。私たち人間が悪いのです。許して下さい」というのがありました。この意見は私自身参考になりました。

◇

今度は二年生の授業をします。あと二週間ほどしか勉強の期間がありませんが、がんばります。

山梨県市川小学校 長田千文

長田 極

ハトの声



この欄への読者の自由な投稿を歓迎。四百字以内、住所・氏名明記のこと。(紙上匿名は自由)

江東 浪人

去る二月二七日から三月二日までジュネーブでひらかれたNGO国際軍縮会議で文書提出された日本代表報告を改めて読んで大きな失望を感じた。

それは九千字に及ぶ核兵器廃絶を主張することに力点をおいた文書であり、広島・長崎の原爆の被害をくりかえし述べているのに、ビキニ水爆被災やその被害については、ついに一言もふれていないことである。

日本の民主・平和陣営のトップレベルの参加した国際会議での日本代表の報告からビキニ水爆被災事件が脱落しているところに、ビキニ事件が国民の理念から抹殺されている現実をみることができる。

それだけに水爆を主体とする現実の核兵器廃絶の国民的なコンセンサスを取りつづけるためにも、ビキニ事件が正しく扱われることが大切であり、第五福竜丸展示館の果す役割は、きわめて重大であると痛感した。

第10回ビキニ事件と福竜丸を知る集い

予告
き 5月25日(木)午後6時20分
ところ 港区勤労福祉会館(国鉄・地下鉄・三田駅下車)
テーマ 軍備全廃は可能だろうか
講師 畑田重夫先生(国際政治学)
入場無料 資料代200円

主催(財)第五福竜丸平和協会